

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度（2学年用）		教科	公民	科目	公共
教科：	公民	科目：	公共	単位数：	2 単位
対象学年組：	第 2 学年	1 組～	8 組		
教科担当者：	（1組：長井）（2組：田本）（3組：長井）（4組：田本）（5組：長井）（6組：田本）（7組：長井）（8組：長井）				
使用教科書：	（ 実教出版 公共				）
教科	公民	の目標：			

- 【知識及び技能】考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

科目	公共	の目標：
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。		現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【知識及び技能】		【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。		よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 社会を作る私たち 【知識及び技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。 ・伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・多面的・多角的に考察し、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めさせる。	○指導事項 ・人生における青年期の意義を理解する。 ・青年期の特徴を理解する。 ・青年期において直面する葛藤や欲求不満などの困難とその対処法を理解する。 ・青年期の発達課題を理解する。 ・日本人の伝統的な自然観や倫理観の特徴について理解する。 ○教材 教科書、授業プリント、ワークシート、授業スライド など ○一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	5
	第2章 人間としてよく生きる 【知識及び技能】 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・多面的・多角的に考察し、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めさせる。	○指導事項 ・理想的な人間の生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの主張を理解する。 ・近代ヨーロッパで生まれた、科学的思考を理解する。 ・自由についてのカントとヘーゲルの主張を理解する。 ・社会参画や公共性の確立について思索した思想家たちの主張を理解する。 ○教材 教科書、授業プリント、ワークシート、授業スライド など ○一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。また、人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	第3章 他者とともに生きる 【知識及び技能】 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○指導事項 ・功利主義の考え方を理解する。 ・社会の公正なあり方について思索したロールズとセンの主張を理解する。 ・リベタリアニズムやコミュニタリアニズムの主張を理解する。 ○教材 教科書、授業プリント、ワークシート、授業スライド など ○一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・現代の諸課題について自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	5
	第4章 民主社会の倫理 【知識及び技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	○指導事項 ・人間の尊厳と平等といった原理の背景にある考え方を理解する。 ・差別や偏見を是正するための取り組みやその背景にある考え方を理解する。 ・自由・権利と責任・義務の関係を理解する。 ・自由・権利と責任・義務の関係が将来世代の問題としても考えられることを理解する。 ○教材 教科書、授業プリント、ワークシート、授業スライド など ○一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

[illegible]